

令和6年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年8月6日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役COO (氏名) 福原 光佳 (TEL) 092(720)5800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第3四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第3四半期	29,606	6.2	3,230	13.8	3,211	14.2	2,169	18.1
5年9月期第3四半期	27,872	2.8	2,838	2.5	2,813	2.0	1,836	△1.4

(注) 包括利益 6年9月期第3四半期 2,182百万円(18.9%) 5年9月期第3四半期 1,835百万円(△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第3四半期	100.68	100.36
5年9月期第3四半期	85.43	85.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第3四半期	26,028	21,153	80.9
5年9月期	25,501	19,661	76.5

(参考) 自己資本 6年9月期第3四半期 21,060百万円 5年9月期 19,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00
6年9月期	—	0.00	—		
6年9月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

- 令和6年9月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭
- 配当予想の修正については、本日(令和6年8月6日)公表いたしました「配当予想の修正及び記念株主優待(ギネス世界記録(TM)認定記念配当及び記念株主優待)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.2	4,000	6.5	3,980	7.0	2,580	7.8	120.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

6年9月期3Q	21,855,200株	5年9月期	21,855,200株
---------	-------------	-------	-------------

② 期末自己株式数

6年9月期3Q	291,373株	5年9月期	343,110株
---------	----------	-------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年9月期3Q	21,550,832株	5年9月期3Q	21,496,681株
---------	-------------	---------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、令和6年8月6日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国をとりまく環境は、経済活動の正常化による人流の活発化や、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復、所得環境の改善等が見られました。一方で、不安定な国際情勢、世界的な原材料・エネルギー価格の高騰や為替動向、賃金上昇を上回る物価上昇の影響等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは『美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。』というパーパスの実現に向けて、中期経営計画「VISION2025」に基づき重点課題に取り組みました。

通信販売において、化粧品の「PERFECT ONE」では、顧客のLTV最大化や季節限定商品等の販売好調により国内売上高は想定通りの進捗となりましたが、海外販売の事業戦略見直し等の影響によりブランド売上高は減収となりました。課題であるミドル世代の顧客獲得に向けては、ECやSNSを中心としてオールインワンセラムのマーケティングを推進しています。20代を中心に若年層の開拓が進む「PERFECT ONE FOCUS(パーフェクトワンフォーカス)」では、4月より定番商品化した「パーフェクトワンフォーカス スムースクレンジングバーム ディープブラック」が売上拡大に貢献しました。ECモールのセールイベントでは、定番商品に加えて美容液「VCレチ スムースセラム」の販売が好調に進み、過去最高の売上高を更新したことで、EC売上高が大幅成長を継続しました。ヘルスケアでは、「Fun and Health」の主力商品である機能性表示食品「Wの健康青汁」の定期顧客数が着実に増加し、高い成長率を継続しました。

卸販売においては、「PERFECT ONE」のドラッグストア展開において、販売促進取り組み強化により1店舗当たりの売上高が向上しました。「PERFECT ONE FOCUS(パーフェクトワンフォーカス)」では、バラエティショップ等にてクレンジングバーム部門売上1位を獲得するなど、好調にセルアウトが進み、売上拡大に貢献しました。Wellness Foodでは、展開店舗数の拡大により着実な成長が継続し、加えてTV番組放映が主力商品であるアマニ油の需要増加を後押しし、売上を伸ばさせました。

海外販売においては、米国市場で「PERFECT ONE」「PERFECT ONE FOCUS」のオフライン通販・ECともにテスト販売を開始しました。PR施策も並行して実施し、認知度拡大に取り組みました。東アジア・ASEANでは、事業戦略見直しを進めており、新たな展開に向けた戦略の再構築を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,606百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は3,230百万円(前年同期比13.8%増)、経常利益は3,211百万円(前年同期比14.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,169百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、526百万円増加して26,028百万円となりました。これは主に、投資その他の資産(繰延税金資産等)が188百万円減少した一方で、現金及び預金が516百万円、棚卸資産が246百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、966百万円減少して4,874百万円となりました。これは主に、買掛金が376百万円、未払金が119百万円、未払法人税等が294百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が145百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1,492百万円増加して21,153百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,459百万円増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,518	16,034
売掛金	3,171	3,219
棚卸資産	2,092	2,338
その他	512	461
貸倒引当金	△39	△43
流動資産合計	21,254	22,010
固定資産		
有形固定資産	1,983	1,978
無形固定資産		
のれん	818	739
その他	500	543
無形固定資産合計	1,318	1,282
投資その他の資産	945	756
固定資産合計	4,247	4,017
資産合計	25,501	26,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	946	569
1年内返済予定の長期借入金	192	180
未払金	2,423	2,303
未払法人税等	754	459
賞与引当金	197	93
その他	569	642
流動負債合計	5,083	4,249
固定負債		
長期借入金	254	120
退職給付に係る負債	182	191
その他	320	312
固定負債合計	757	625
負債合計	5,840	4,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,104	4,088
利益剰余金	11,885	13,345
自己株式	△647	△549
株主資本合計	19,501	21,043
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	13
退職給付に係る調整累計額	4	3
その他の包括利益累計額合計	4	16
新株予約権	155	93
純資産合計	19,661	21,153
負債純資産合計	25,501	26,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	27,872	29,606
売上原価	5,290	6,058
売上総利益	22,581	23,548
販売費及び一般管理費	19,743	20,317
営業利益	2,838	3,230
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	1	1
受取賃貸料	9	9
固定資産売却益	6	—
その他	9	11
営業外収益合計	26	28
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	3	—
投資有価証券評価損	27	12
固定資産除却損	18	1
情報セキュリティ対策費	—	27
その他	0	4
営業外費用合計	51	47
経常利益	2,813	3,211
特別利益		
投資損失引当金戻入額	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
投資有価証券評価損	98	—
特別損失合計	98	—
税金等調整前四半期純利益	2,716	3,218
法人税、住民税及び事業税	825	978
法人税等調整額	54	71
法人税等合計	880	1,049
四半期純利益	1,836	2,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,836	2,169

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純利益	1,836	2,169
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	13
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	12
四半期包括利益	1,835	2,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,835	2,182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	226百万円	209百万円
のれんの償却額	79百万円	79百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。